



伊木 真由子

一、基幹産業の構築 二、子どもの体力

基幹産業の構築

問 農業をまちづくりの根幹と位置付けた町長の考えを問う。

答 本町は広大な農地を有し、農業と生活を一体とした生活形態が続いてきた。農業を守り、農地保全をしていくことは、住環境を良好に保つこととであると考える。

問 まちづくりを実施する上で法律上大きく規制されていることは。

答 代表的なものとして、都市計画法・農業振興地域の整備に関する法律などがある。複数の法令が作用し土地利用を制限している。

問 まちづくりを進めていくには、本町の土地規制の現状やポテンシャルを住民と共有していくこ

とが必要ではないか。

答 土地利用の規制はそ



子どもの体力

問 統廃合したことによるバス通学で、子どもの体力が低下することは、一般的によく言われている。本町の子どもの体力低下の要因を問う。

答 バス通学も1つの要因と思うが、日々の生活様式など様々な要素がある



問 今年度「オノマトペ体操」に取り組んでいる。体力向上の方法として、なぜこの体操なのか。

答 体育は週に2、3時間だが、この体操だと3分位でほぼ毎日運動に親しめる機会がつけれる。

問 保護者や地域の方と問題意識を共有することで、様々な取組みができると考える。学校運営協議会でも議題にあげても

られないか。

答 機会を捉えて話の議題に上げたいと考える。

一般質問



平田 要

一、新設の道路整備の取組み 二、小中一貫教育による 魅力ある学校運営

新設の道路整備の取組み

問 新設の東西連絡道路整備（地図参照）の実現化をめざして、行政が主体となつて、官民の連携のもと、「仮称」バイパス道路整備促進協議会を設置し、整備事業の必要性と事業実現への機運を高めるとともに、関係機関への要望活動を実施していくことについて考えを問う。



答 府と協議を続けていくという段階で、協議会を設置するという段階にはない。

問 猪子峠の拡幅区間の現状について問う。

答 府は地籍混乱が生じ整備を中止している。

問 府に再開を要望されたいが、考えを問う。

答 府に話をしていきたい。

問 池田土木事務所に、こういう要望があること

を話をしたい。その上で「国道477号線改修促進期成同盟」の要望に載せるか、検討していきたい。

小中一貫教育による 魅力ある学校運営

問 自然豊かな環境にある「能勢ささゆり学園」を活かし、他市で取り組まれている小中一貫教育による新たな魅力ある学校運営により、町外からの子育て世代を呼び込む教育、文化のまち能勢町としての考えを問う。

答 小中一貫教育を進めるに当たっては、現実を踏まえつつ、町の児童生徒にとってどんな学校システムが有効であるかの研究を続けながら、能勢スタイルの小中一貫教育システムを構築していく必要があると考えている。